



今月もたくさん飲んでしまった。飲まなければもっと沢山のことが出来るとわかっているのにもこれはどうしようもない。名古屋の地球博への出展が待たなしに迫っているのに、金がないものだから、展示物を作る作業にも支障が出ている。コンピュータのデータをプリントアウトするのも優先順位をしっかりと考えてやっていかないと、作業の途中でインク切れや紙切れがあったらもう消耗品を補給できないのだからアウトになってしまう。それでも飲み代は優先順位が上なのだ。飲むと言うことは人と直接会うということであり、未知の分野をたくさん含んでいる。したがってその分野を切るわけにはいかないのだ。しかし今月の最終日の夜の9時から翌朝までの間に万博

の会場を作らなければならないのは決まっていて、待たなしだから仕方がないのだ。それにしてもし出展する模型を今作っているのだが、予算がゼロで私も「全く金ならない。」力強く言う状態であるから、今あるものを最大限使う、必要なものはもらいにいったり拾いに行ったりもする。フルに頭を使って、現有戦力と拾いもので出来るものを考える。そんな状態だが、お客さんに見てもらうものがそれでいいのだろうか。まあ、やるだけやるのだ。

と言うわけで日夜動き回っている。一昨日は昼間から集まって次に作る便所をどうやったら安く作れるかという話し合いを持った後、バンコク土産のメコンウイスキーで温度を上げてから、居酒屋へ移動して便所の文化について熱く語りあい、ぐんぐん飲んで財布を忘れたのが一人、途中から記憶喪失ではるか彼方まで電車で行ってしまったのが一人、新宿駅でホームが発見できずに駅の中を歩き続けた男が一人、まあ、ぼろぼろなのだ。

翌日も会合の後カンピールをたくさん飲んで、昨夜の店に財布の回収に行って便所関連の、特に今日は女の立ちしょんべんとそれ用の便器について意見や実見が乱れ飛び「今日は静かにほぼえみつつ別れましょう。」などと言いつつも、意志が弱い若干数名は昨夜と同じくションベン横町のカウンターににじりよっていき、「昨日よりは酔ってないよなー。」とやさしく慰め合って熱燗を何本かあけて帰った。

この調子で来月は万博会場にコンパニオジサンと化して詰めるのだが、夜が怖い。帰る頃にはなじみの飲み屋が数件出来ていることだろうと思うと、さてどうしようと今から頭が痛い問題だ。

しかし、みんな定年間近、もしくはとっくのとうに定年という諸兄ばかりだが、元気が良い。というより、なんだかんだと世界平和やらアジア、フリカの衛生問題は・・・国際会議は・・・などと理屈をつけてしゃべっていながら、要は心の中の夢方向をまだまだしっかり追っていく、夢を追う猟師達で、その猟師達が経験も学識も、社会の荒波も十分わかっているという武器を持っていて、そんな一匹オオカミのはぐれ猟師が集まっているものだから、計画から金集め、実行、報告、反省会まで実に強力に推し進めることが出来ている。みんなの人生の成果の総合発表会みたいなものだ。夢を失って、みんな相手が悪いんだと信じ込んでいるおばさんも怖い、夢を持ったオジサンも手がつけられないなーといった気がする。これからまだまだバングラとのお付き合いも続きそうです。ノームはそんなわけで、6月は万博会場にいることが多く、各方面とはメールでやりとりできるようにしようと考えています。徐々に、コンピュータと通言手覚ええれば作業は出来るようになっていくようです。

6月の'まなざし'の編集は18日です。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com